

官相補候事
明治十七年五月六日
宮内卿伊藤博文

親	王	一 上三位	二 三位	三 四位	四 五位	任	官	六 位	以	判	任
有紋黑羅	同	同	同	同	同	無紋黑羅	烏 子符	烏 子符	烏 子符	烏 子符	烏 子符
有紋黑羅	同	同	同	同	同	無紋黑羅	烏 子符	烏 子符	烏 子符	烏 子符	烏 子符
有紋紅綾	同	同	同	同	同	紅 平 絹	紅 平 絹	紅 平 絹	紅 平 絹	紅 平 絹	紅 平 絹
有紋紫羅	同	同	同	同	同	白 布	白 布	白 布	白 布	白 布	白 布

親王ハ從前着用ノ紋ヲ用キラル可レ但適宜ノ紋ヲ
選用キラルモ妨ナシ
勳任官以下五位以上ハ遠文但所有ノ輩ハ在來ノ紋
ヲ用ユルモ妨ナシ
親王ハ冠紋ニ同シ
勳任官以下五位以上ハ(摺扇草)(輪無)ノ内ヲ用ユ
可レ
親王以下五位ニ至ル迄菱菱紋同遠紋兩様ノ内ヲ用
ユ可レ
親王冠紋ニ同シ
一等官ニ位以上藤ノ丸紋ヲ用ユ可レ

賞勳叙任

○明治十七年三月十七日
秩勳六等賜單光旭日章 退職歩兵中尉七位 山口 長成
○明治十七年五月七日
補官内省出仕 特命全權公使正四位勳一等 寺島 宗則
任參事院議官 特命全權公使從四位勳二等 森 有禮
任參事院議官 司法大輔從四位勳三等 河瀬 真孝
任會計檢査院長 參事院議官從四位勳三等 渡邊 昇
任會計檢査院長 參事院議官從四位勳三等 岩村 通俊
從四位勳三等

時事新報

支那政府ノ更迭並ニ支那事件
支那政府軍機大臣ノ更迭事件ニ關シテハ我輩コレヲ四月十
四日ノ時事新報紙上ニ於テ聊カ知ル儘ヲ列記シ取敢テ讀者
諸君ノ參考ニ供シ尙ソノ後モ引續キ報道ヲ得ルニ從ヒ常ニ
登錄スルヲ志ラズシテ諸君ト與ヒ此重要事件ノ如何ニ成
行クカヲ注意シ居タルニ兩來四週日支那ヨリ來ル所ノ報道
ハ略々之ヲ知悉スル機會ヲ失ハザルヲ得タリ尤モ支那政府
中ノ事ハ其情ヲ詳ニスル能ハズト雖モ今日マア外面ニ顯ハ
レタル事實ヲ以テ推考スルニ今支那政府ノ任免革職等ハ
實ニ一部一省ノ變動ニ止マラズシテ北京ニ於テ支那政府全
體ノ大更迭ト申スベキ者ナリ左レハ此更迭ノ波瀾ヲ受ケテ
ルハ獨リ軍機處大臣衙門ノミコト非ズ又獨リ總理各國事務衙
門ノミコト非ズ上ハ宗人府ヲ始メテ軍機處、總理衙門ヨ
リ六部、三院、九卿ニ三法司皆一齊ニ更迭シ、其趣ハ英米等
ノ行ハル、政黨内閣ノ更迭ヨリモ尙且ツ甚シキ者アリ蓋シ
西洋ニテ例ヘバ保守黨失敗シテ改進黨コレニ代ハルトセバ
政府一切ノ長官ハ皆殆ソト變動スベシト雖モ其變動ハ唯行
政部ニ止マリテ他ニハ左程ノ關係無キコトナラン然レ
トモ今回支那政府ノ更迭ニ至リテハ變動ノ影響ノ行政上ニ及
ビタルハ勿論、ソノ他司法ニ立法ニ軍事ニ皆波及セザル所
ナキナリ第一ニ皇族一切ノ事宜ヲ掌ル宗人府ニハ醇親王故
ノ如ク宗令ヲ兼テ親王ハ左宗正ヲ免セテ親王親親王コレ

ニ代ハリ職務ヲ管理シ百僚ヲ統率スル軍機衙門大臣ニハ宗
人府ノ右宗正禮親王ヲ始メトシ又外交事務ヲ管理スル總理
衙門大臣ニハ同シ郡王銜貝勒奕劻ヲ始メトシ諸大臣各
々ノ撰ニ中リ又京外ノ文職銜任職階ヲ掌ル吏部ノ如キ、
土田戸口財賦出納ヲ掌ル戶部ノ如キ、吉凶ノ儀式學校貢舉
ノ法ヲ掌ル禮部ノ如キ、京外ノ武職機關軍實ヲ掌ル兵部ノ
如キ、器用材物營造建築ヲ掌ル工部ノ如キ(工部尙書ノ姓名
ハ未ダ詳カナラズ)國史圖書制誥文章ノ事ヲ掌ル翰林院ノ
如キ、内外藩ノ政令ヲ掌ル理藩院ノ如キ、官常ヲ察察シ綱紀
ヲ整飾スル都察院ノ如キ、或ハ平反重辟ノ事ヲ掌ル大理寺
ノ如キ、或ハ京外ノ章奏ヲ達スルヲ掌ル通政使司ノ如キ、又
或ハ閱兵大臣ノ如キ、總管內務府大臣ノ如キ、八旗都統、前
鋒統領、驍軍統領等ノ他文武ノ諸官銜殆ソト皆革職轉補
等ノ事アラザルハナク而シテ之ノ上ニ立テ軍機處ニ出入シ
皇帝幼年ノ間方機ヲ補佐スベキ重任ヲ受ケタルハ今上光緒
帝ノ生父醇親王奕譞コレヲ就中此一事ハ支那内外文武ノ政
略ニ至大ノ關係ヲ有ツガ如ク思ハル、ナリ

右ノ如ク支那政府今更迭ハ實ニ尋常ノ事相ニ非ザルヲ
以テ舊政府ノ政略ト新政府ノ政略トモ正ニ須ク反對シテ
甲若シ和平主義ヲ持セシナラバ乙ハ主戰主義ニ出ツベキハ
實ニ相當ノ順序ナリト思ハル、ニ新政府ハ未ダ何ヲ果斷
ノ政略ヲ布告スルコトモナク唯依然タル舊政府ノ跡ヲ受ケ坐
シテ事ヲ待ツモノ、如是レ我輩ガ始メハ更迭ノ過大ナ
ルニ驚キ尋テ政略ノ變異ナキヲ見テ又再度ノ驚駭ヲ喚ビ
所以ナリ夫レ前任恭親王等ガ安南事件ニ關シ佛國ニ對シテ
ハ先ヅ和平主義ニ類似シタル政略ヲ執リテ和戰ノ兩端ヲ
味模倣ノ中ニ出沒セタルヲ故コレガ後ヲ受ケタル醇親王
親王等ノ人々ハ公然タル主戰政略ヲ持シ黑白反對ノ方向
ニ赴クベキコト其實ハ然ラズシテ前政府ト轉テ相依リ相似ス
ル趣ヲ察スルニ今更迭ハ和戰ノ爲メコト生ララルベシ
シテ唯、恭親王親王及ビコレニ對シテ黨派ノ軋轉ノ久シク
結シテ發シザリ者ガ今更迭ノ安南清佛交涉事件ノ機會ヲ
一党ト同シク二十餘年來政府ノ標榜ヲ專ラシテ恭親王ノ
親王ノ一党トガ一ハ退キ一ハ進ミ而シテ特ニ醇親王ハ今上
ノ生父ナルヲ以テ万機操行ノ大任ニ當リタルヲナラザル
シテ然ラズシテ今更迭ハ主戰政略ヲ實行スルガ爲メナリ
ト爲サバ彼ノ恭親王ト與ニ多年政機ニ當リタル天津ノ李
鴻章モ同ク罷免セラレベキ等ナルコト彼ハ依然トシテ直隸總
督兼北洋通商大臣ノ事ヲ署理シ加フルニ目下北京ノ總理衙
門トハ何カノ在復文書アリテ其日ニ發シテ寸寸成スト聞
ケリ又久シク前軍機處ニ在任セシ李鴻章ノ如キハ陳ア主戰
論者ノ一人ナリト聞エタルコト却テ其任ヲ奪ハレタルハ不審
ト云フベシ又支那政府ガ果シテ佛國ニ抗戰セントスル決意
ノ色アラフ北京ニ駐在スル英米兩國公使ノ如キモ豈ニ官員ニ
北京ヲ去ラフヤ然ルニ英公使「バックス」氏ハ朝鮮國ノ領事

館設置ノ爲メトカニ「アストン」「ヒリール」ノ二氏ト與
上海ヨリ仁川ヘ向ヒ又米公使「ヨング」氏モ領事館巡視ノ爲
メトカニ同ク上海ヨリ香港ヘ赴キタル由ナリ蓋シ此兩公
使ハ舊ニ清佛ノ開ニ入りテ仲載和好ノ媒ヲ爲スナラント
風説セラレシ人ナルコト今更迭ノ際ニ容易ニ北京
ヲ去リ急ニ歸國シ促スル氣色ナキヲ見レバ目下中統議和ノ
沙汰モ立消ニシテ去迎又支那政府ガ佛國ニ公使職ヲ指
向スルノ恐レモナキ實情存スルモノ、如ク然リ左レハ
今回ノ更迭大ナリト雖モ佛國ニ對シテハ先ヅ殆ソト影響
スル所ナク、和好ニモ近寄ラズ開戰ニモ近寄ラズ唯其中間
ニ依違送迎シテ只管佛國ヨリ申出シテ待テ相違無カラ
ン果シテ然ラバ此疑問ノ落着キ決スルニハ新任佛公使「バ
ナノートル」氏ガ不日北京ニ進入スルヲ待テ可クザル
ナリ「バナノートル」氏ガ北京ニ入ルノ日ハ夫レ安南事件落
着ノ時ナラン歟

電報

○四月二十三日北京發 西太后は各州官が諸州徵租の件
關して多く収斂を行ふを熟知し依て今後漸る場合の上聞
達するに於ては一切大小の諸官總て嚴罰を加へて仮借せざ
るべしと諭令を降せり
○四月二十八日龍巖發 英軍は本日をしてスーマンのハ
ル府引揚を始めたり兵師の大半は土寇お情狀を通せり○
愛蘭ダブリン府はパリラックスニ於て爆發、期を誤て破
裂したり依て官司は之を探偵せしよろ之乱民蜂起の企計を
りしとを知れり

雜報

○顯官轉任後聞 前號の紙上ニ寺島宗則若外四名轉任の事
を掲げたりしが右は本日ノ敘任欄内ある如くよして其
年俸等少しく相違の處もあれば更ニ左ニ仰渡されたる次第
を掲ぐ
宮内省出仕 寺島 宗則
宮内省出仕 寺島 宗則
一 等官 以テ年俸五千圓下賜候事
參事院議官 森 有禮
制度取調局御用掛被仰付候事
參事院議官 森 有禮
一 等官 相當年俸四千五百圓下賜候事
參事院議官 森 有禮
文部省御用掛兼勸業被仰付候事
特命全權公使 河瀬 真孝
二 等官 相當一 等年俸下賜候事
英國在勸業被仰付候事 特命全權公使 河瀬 真孝
○森有禮君 同君よは一昨日特命全權公使の任を仰して參
事院議官に轉シ文部省御用掛を兼動したり森君が文部省に
轉任の事は君が英國より歸朝以前よりして専ら風説したる
所おして今更新奇の出来事にはお小されども文部省任よわ
くすして參事院より兼動は如何の疑あり蓋シ二 等官の大
輔ならで一 等官の職官にて御用掛兼勸業とわれ元老院議官
兼文部少輔に上席に坐りて事務を任するの都合もよく兼動